

敦賀市中池見湿地保全活用協議会
令和4年度第一回会議 議事要旨 (R4.10.3開催)

議事1. 会長選出

- 事務局より井上武史氏（東洋大総合政策学科准教授）の推挙提案があり、出席者からの異論なく拍手にて決定。

議事2. 来園者数等報告

[意見等]

- ・ 来園者はどこからの来訪が多いか？（顧問）。
←事務局説明：市内が多。中京方面からも多い模様。
- ・ 8月の来園者数減への対応は、ビジターセンターに冷房を入れるとよいと思う（会員）。

議事3. レビューの進捗報告

- レビューを通じて明らかになった課題は、今後、協議会構成員で協力しあい解決を模索する。
- 今後、中池見湿地の広報を協議会構成員が相互に協力して取り組む。
- 市は、事務局として実施計画の取組進捗を毎年確認し、協議会に報告する。

[意見等]

- ・ 取り組もうとしている戦略的広報は何か？（会長）
←事務局説明：ラムサール登録10周年等を活かし、皆の協力を得て進めたい。
- ・ レビューを通じて明らかになった課題をどう解決しようとしているのか？ 協議会として取り組んでくれるのか？（会員）
←事務局説明：事務局としては、課題は皆で取り組めるよう調整を進めたい。
- ・ 戦略的広報が重要なのは、そのとおり。音楽会の開催など、思い切った取組が必要。ラムサール10周年をもっと活用すべき。季節に合わせたイベント開催など、もっと、アイデアを出し合う場を整えてはどうか（顧問）。
←事務局説明：新幹線開通も契機としたい。皆様からのアイデアをいただきたい。
- ・ 中池見に限らずどの分野も敦賀のPR力は弱い。この協議会では、観光協会にも参加いただくなど体制を整えることも重要（会員）。
←事務局説明：多様な主体の働きかけは事務局として取り組みたいし、皆さまにもご尽力願いたい。

議事4. その他事項

- つるが環境フェアの特別展示に当協議会を展示することに、出席者同意（作業は事務局）。
- ヌートリア等特定外来生物について、相互の情報提供や駆除活動に協力することで同意。
- 中池見湿地の産物による商品開発の申出（会員）にも、同意。

[意見等]

- ・ 戦略的広報に関連し、来年度はエコプロダクツ（エコプロ展）に出展してはどうか。毎年、申込締め切りは7月で、NPO/NGOの出展は数万円程度で可能。思い切った広報活動が重要（顧問）。
- ・ Satoyama イニシアティブ推進ネットワークに参加すれば、広く活動周知の場もある（顧問）。
- ・ （会員）より次の提案があった。
 - * 保全、活用それぞれについて、専門的な議論を深めるための分科会の設置。
 - * ふるさと納税の使途に関して、協議会での議論実施。
 - * 実施計画に合致した保全活動に対しての利用料減免措置の検討。
 - ←事務局説明：分科会の設置は今後検討。
- ・ 中池見の産物利用は、持出不可のため難しい。薪の利用はどうか（会員）。
 - ←事務局説明：条例に基づく手続きを経て、ご活用いただける可能性はある。
- ・ スロープカーの復活は可能か？（会員）
 - ←事務局説明：基金の状況をみて、現時点ではできない。
- ・ 施設管理の業務委託仕様に、来訪者へのガイドを入れてはどうか（会員）。
 - ←事務局説明：持ち帰り検討する。現時点でもパンフレット作成等は行っている。

○閉会時・会長コメント

- ・ 本日、たくさんの課題を出していただいた。
分科会の設置も、ぜひ検討いただきたい。
- ・ 今後も、皆さまの相互協力のもとでより良い方向に進めたい。

○事務局からの連絡

- ・ 次回会議は令和5年1月末～2月上・中旬を予定。
議事として、構成員皆さまの活動報告・計画を予定したい。
その他、研究報告・事例報告等も交えてはどうかと考えている。

(以上)